

1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館

館長 田中 直彦

芝浦工業大学は「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を建学の精神として、1927年に創立した東京高等工商学校を起源としています。2014年9月には私立理工系大学として唯一スーパーグローバル大学に選ばれ、建学の精神の実現に向かい着実に歩んでいます。

改めて言うまでもなく、本学の目指すところは、世界に通用する技術者と優秀な研究者の育成にあります。

図書館は、大学の歩みや時代の流れとともに変遷・発展してきました。豊洲、大宮、芝浦の3館での学生一人当たりの年間平均貸出数は全国の大学平均を大きく上回っており、皆に親しまれ活用されていることがわかります。しかし現状に甘んじることなく、世界水準の教育研究拠点にふさわしい役割を担うべく、創立100周年に向け更に進化しなければなりません。その目標に向かい図書館員一丸となって邁進する覚悟です。そのため、2019年度は大きく3つの柱を設定しました。

1. 国際的競争力を強化する研究環境整備

電子ジャーナルの価格は年々高騰していますが、満足のいく研究環境を維持するには今や欠かせない資料です。とはいえ、購読継続のためには価格に見合うよう利用率を上げる必要があります。そのため特に電子ジャーナルの活用方法に関するガイダンスを拡充し利用促進に努めます。

2. 学修・教育研究支援機関としての図書館機能の強化

恒例となっている図書館満足度調査内容の見直し、回答率アップを図るとともに、新たに卒業生等へのアンケートを実施します。そして、利用者の目的や要望の把握に努めます。また、企画展示等、図書館の様々な活動を広く知っていただくため、広報活動を強化します。

3. 就職関連活動における図書館利用の促進

就職関連資料の貸出状況を分析し、ニーズにあった就職対策本の充実を図ります。

キャリアサポート課と連携し、図書館が管理する電子資料の活用を促進します。

これまで、図書館が何をやっているのか見えてこないというご意見をいただくことがありました。四半期ごとの「OH! MY LIB CAFE（芝浦工業大学図書館ニューズレター）」発行の他、各種企画や展示情報等の発信に努めてまいりましたが、更に前進すべく、ホームページへの図書館年報公開を決めました。業務の「見える化」を進め、図書館改革の一步とします。

未だ不十分な点、改善すべき点は多々ありますが、皆さまに叱咤激励をいただきながら改革していく所存です。図書館の活動にご理解を賜り、より良い図書館運営を行うべく、皆さまのご協力をお願いいたします。